

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 5 政策・方針の決定過程における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (1) 審議会等における女性の登用推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

058	事業名	審議会等への女性の登用推進	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市の審議会等における女性の登用を推進する。		<ul style="list-style-type: none"> 行政推進会議及び幹事会で全庁的に働きかけを行う。 審議会委員の改選時期に合わせて、女性の登用について各課に対して個別に働きかけを行う。(事前協議) 		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 全庁的な男女共同参画推進体制である行政推進会議(部長級で構成)及び幹事会(課長級で構成)で働きかけを行ったほか、審議会等の改選時期に合わせて所管課所の担当者と事前協議を行い、女性の登用について配慮を依頼した。				
【活動実績(活動指標)】 働きかけの回数		【取り組みの成果(成果指標)】 女性の登用率		
<目標> 1 回 <実績> 23 回 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> 35 % <実績> 29.8 % 達成度 4 (概ね達成できた)		
行政推進会議(1回)、幹事会(1回)、事前協議(21回) また、行政管理課と合同で、審議会等の情報をまとめた「審議会等ガイドブック」を作成し、地区センター等への設置やホームページへの掲載を行った。		平成31年4月1日現在 審議会等・・・行政委員会、法令等審議会、要綱等協議会(H29.4より追加)		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要)		全庁的な男女共同参画推進体制である行政推進会議(部長級で構成)及び幹事会(課長級で構成)で働きかけを行ったほか、審議会等の改選時期に合わせて所管課所の担当者と事前協議を行い、女性の登用について配慮を依頼した。		
<H29実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
女性の専門家が少ない分野や、あて職の委員が多い審議会等の場合、委員の選任に所管課の裁量が及びにくい状況がある。		女性の登用の余地がある審議会等については、事前協議において引き続き所管課に積極的な働きかけを行う。		

059	事業名	男女共同参画チャレンジリスト登録者への情報提供	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民(チャレンジリスト登録者)に、審議会委員の公募に関する情報提供を行い、審議会等における女性の登用を推進する。		審議会への女性の参画を支援するための講座受講者等のうち、希望者にチャレンジリストに登録してもらい、公募委員を募集する各審議会の情報を提供する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 チャレンジリスト登録者に対して、年度当初に、その年度内に公募委員を募集する審議会の情報提供を行った。また、登録者への公募委員募集情報の個別送付を希望する審議会の所管課所に対して、同意をもらった登録者の情報提供を行った。				
【活動実績(活動指標)】 チャレンジリスト登録者数		【取り組みの成果(成果指標)】 登録者のうち年度内に公募委員になった人数		
<目標> 85 人 <実績> 78 人 達成度 4 (概ね達成できた)		<目標> 13 人 <実績> 14 人 達成度 5 (十分に達成できた)		
内訳:女性59人、男性19人(平成31年4月1日現在)		平成31年4月1日現在、登録者のうち公募委員の人数		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		公募委員募集のために依頼のあった課には、チャレンジリストの提供を適宜行った。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 5 政策・方針の決定過程における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (1) 審議会等における女性の登用推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

060	事業名	審議会等における女性の登用推進のための講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 40,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
主として女性に、審議会等への参画についての意識を高め、審議会等における女性の登用を推進する。		審議会等への女性の参画を支援するための講座を、人権・男女共同参画推進課と連携して開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 広く市民に女性の政治参画の重要性を伝え、女性受講者が身近な課題の解決法を考えるきっかけを提供する2回連続講座「あなたの声が暮らしを変える」を実施した。①5/31「女性が拓く地域の未来」②6/7「審議会を知らう」。講座終了者のうち、希望者が実際に審議会を傍聴した。③6/21「審議会へ行こう」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 % 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> 80 % <実績> 75 % 達成度 4 (概ね達成できた)		
参加人数:55人(女性:45人、男性:10人) 募集人数:50人(第1回30人、第2回20人) 審議会傍聴参加人数:6人		「地域を活性化するためのヒントが盛りだくさんだった。個人の幸福度が本当の男女共同参画につながるという話に納得した」「各審議会の活動内容がわかってよかった」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		第1回では、実際に講師が関わったまちづくり等の事例紹介から、地域課題解決のための取り組みについて実践的なヒントを提供できた。第2回では、女性審議会委員の経験談や、審議会委員を公募する各審議会の担当職員からの説明により、審議会に対する理解を深めることができた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
ここ3年間ほど「審議会」を前面に出した内容で講座を実施しているが、集客が難しい。		広く市民が関心を持てるような内容や参加しやすい開催時期等を検討する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 5 政策・方針の決定過程における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (2) 女性人材の育成

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

061	事業名	女性職員の人材育成・登用促進	課所 事業費	人事課 145,800円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
政策決定過程における男女共同参画を推進するため、行政内部においても、女性人材の能力開発、登用を促進する。		女性職員を対象としたエンパワーメント研修等を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 女性の能力開発・発揮を目的とした「女性職員エンパワーメント研修(女性の強み・弱み、ワークライフバランス等)」を実施した。(8/22実施)				
【活動実績(活動指標)】 女性の能力開発のための研修の受講者数		【取り組みの成果(成果指標)】 主幹職以上に占める女性の割合		
<目標> 25 人 <実績> 30 人 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> 33 % <実績> 29.7 % 達成度 4 (概ね達成できた)		
目標値(25人の受講枠)を設け、女性人材の能力開発に努めた。		行政職及び医療職の職員のうち、主幹級以上の職員に占める女性の割合(平成31年4月1日現在)		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		目標値を設け、女性人材の能力開発、主幹級以上の女性の割合の拡大に努めた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進

施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進

取り組みの方向 (1) 女性の就業機会の拡大推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

062	事業名	育児休業取得中の女性を支援する講座の開催	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	193,800円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
育児休業を取得した女性が就業継続し、スキルアップに繋がる支援をする。		育児休業取得中の女性が仕事に復帰していくため、具体的に役立つ知識やスキルを習得できる講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 NPO法人子育てサポーター・チャオと協働で、3回連続講座「育児休業取得中の女性のための職場復帰準備講座」を、6月と9月の2回実施した。①6/3と9/2「パートナーとともに考える！仕事と育児「パートナーとともに聞く先輩ママの体験談」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 %		<目標> 80 % <実績> 94 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:女性104人(6月51人、9月53人) 募集人数:6月48人(16人×3回)、9月48人(16人×3回)		「復帰や家事・育児、何よりパートナーと一緒にやっていくことを前向きに考えられるきっかけをいただいた」「現役の子育て中の方から子どもの送迎や家事の進め方など、具体的な話が聞けてよかった」「役所の方に直接話が聞けてよかった」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		家事・育児を働く母親とパートナーとで協力しあうこと意識づけや、復職前にパートナーとしっかり話し合うことの大切さに気づくことができた。さらに、パートナーも同伴可能としたことで、男性参加者が「当事者」として家事・育児に参加する意識づけも図ることができた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

063	事業名	女性の再就職に関する講座の開催	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
再就職を希望する女性の就職を支援する。		再就職を希望する女性の就職を支援するための講座やワークショップ等を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 埼玉県セカンドキャリアセンターと共催で、就職を希望する女性を対象に10/2「『面接の準備』～魅力をアップさせるコミュニケーション術～」を実施した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 70 %		<目標> 80 % <実績> 100 %		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:14人(女性14人) 募集人数:20人		「採用担当者が見ているポイントと第一印象の重要性がわかり、勉強になった」「最後の面接練習はとても緊張しましたが、等身大の自分でよいと感じることができてよかった」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		再就職を希望する女性に対し、面接に対する心構えや情報提供を行うことで不安が解消するとともに、実践的な練習の機会をもつことで面接に対する苦手意識の軽減につながることができた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
受付方法を共催先かつ電話のみとしたことで、現在就業中の方にとっては応募しにくい受付方法と受付時間になったためか、参加人数が少なかった。		「申込のしやすさ」の視点も加味した受付方法等を検討のうえ、共催先と調整する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (1) 女性の就業機会の拡大推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

064	事業名	女性のための就職支援セミナー	課所 事業費	産業支援課 150,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性の就職を支援する。		女性の就職を支援するためのセミナー(講座)を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 「女性のための就職支援セミナー(市主催)」①4/12(参加者19人)、②5/17(参加者4人)、③6/14(参加者14人)、④10/11(参加者15人)、⑤12/20(参加者12人)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 75 % <実績> 64 %		<目標> 90 % <実績> 98 %		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:64人 募集人数:100人 毎回定員20人のセミナーを企画したが、雇用情勢の好転も影響してか各回のセミナーは定員を満了す申込みなく、また申込があっても講座開催前に就職したことにより欠席も多かった。		「満足」、「ほぼ満足」:63人 「わからない」:1人 「満足」、「ほぼ満足」という集計結果が得られている。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		専門のキャリアコンサルタントによる最新の就職支援セミナーを企画しており、内容もグループワークを中心とした実践的な内容であったが、参加者の満足度も高く、アンケート結果でも高評価を得ることができた。		
<H29実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
景気の動向や雇用情報の改善の影響を受けるため、セミナー参加者の増減に影響する。		参加者を広く募集するため、引き続き周知に努める。		

065	事業名	女性の就業支援事業	課所 事業費	産業支援課 3,358,497円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性の就職支援の一環として専門のキャリアコンサルタントを配置し、就職に向けたきめ細かな総合的カウンセリングを実施し、早期就職の促進を図る。		委託事業としてキャリアコンサルタントを配置し、個別にカウンセリングを実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 専門のキャリアコンサルタントによる早期就職に向けた総合的なカウンセリングを実施(月曜～金曜、午前9時～午後5時、受付は午後4時30分まで。正午～午後1時は除く)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
相談件数(延べ)		相談終了者の就職率		
<目標> 145 件 <実績> 72 件		<目標> 40.0 % <実績> 50.0 %		
達成度 2 (達成は不十分)		達成度 5 (十分に達成できた)		
好転している雇用情勢が影響し、相談件数の総数をはじめ、女性の相談件数も減少となっている。		女性相談終了者22人、内訳(就職11人、未就職11人) (相談終了者には自己都合による就職や関係機関を案内した者も含まれている)		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要)		相談件数や相談者の就職率等はその時々々の社会状況が反映されるものと考えられる。事業としては相談から就職まで速やかな相談が実施できており、好景気下といわれる現況において考えても、良好な実績であると捉えている。		
<H29実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
本事業の意図するところは、早期就職促進・就職後の定着にあるが、多様な問題を抱えている相談者も多く、年々相談者への支援が困難になっている。		現場における相談者への的確なフォローもしつつ、対応困難ケースについては関係機関とのスムーズな連携協力ができるよう、適切な案内をする必要がある。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (1) 女性の就業機会の拡大推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

066	事業名	母子家庭等の就労支援	課所	子育て支援課	事業費	16,044,657円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
母子及び父子家庭の母親及び父親の就労を支援する。			母子及び父子家庭の母親及び父親の就労に結びつくような情報の提供に努めるとともに、就労に有効な資格の取得を支援するため、母子自立支援員の面接を通し、教育訓練給付金などの支給を行う。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 就労に結びつきやすい知識・技能を身につけるため、雇用保険法で定める教育訓練講座を受講し、修了した場合に受講費用の一部を支給した。						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
支給件数			達成度			
<目標> 1 件 <実績> 23 件 達成度 5 (十分に達成できた)			<目標> 5 (十分に達成できた) 達成度 5 (十分に達成できた)			
母子家庭等自立支援教育訓練給付金6件、高等職業訓練促進給付金17件を支給した。			給付金などの支給を行うことで、就労を支援することができた。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H29実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後も適切に対応する。			

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (2) 起業・自営業などへの支援

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

067	事業名	女性の起業支援に関する講座の開催	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	66,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性が主体的に能力を発揮できる力(エンパワーメント)をつけるための学習機会を提供し、起業を視野に入れた女性の能力向上を図る。		女性が企業で働くだけでなく、起業する、NPOを立ち上げるなど、多様な働き方の選択ができるようなワークショップを中心とした講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 産業支援課、越谷商工会議所との共催で、女性の起業を支援する4回連続講座「私が好きなことで仕事を創る」を実施した。①9/20「お客さまは誰か考えよう」、②10/4「あなたならではの仕事を創る」、③10/18「中心市街地でお店を構える」、④11/8「お金の知識と店舗運営」。加えて、出店の疑似体験により起業を実践的に学ぶ、11/24実践編「ミニマルシェの開催」を実施した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 %		<目標> 80 % <実績> 91 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:102人(女性102人) 募集人数:80人(20人×4回) ミニマルシェ参加人数:29人		「起業に興味があるものの自分だけでは勉強できないので受講できてよかった」「宿題の添削など細やかなフォローをしていただいた」「起業するのに大切な心構えなど知ることができた」「起業に向けての考えが現実みえてきた」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		1人の講師が連続講座を担当したことにより、受講者のニーズや理解度を確認しながら進めることができ、受講者も講座ごとに知識を積み上げていくことができた。事業計画書や創業にともなう書類の作成について、実際の用紙に基づく説明を受けたことにより、起業への考え方を現実化できた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

068	事業名	女性起業家の育成支援	課所	産業支援課
			事業費	-
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性の起業を促進し、新たな産業や雇用の創出及び市内産業の振興を図る。		女性の起業希望者や起業間もない方を対象に創業相談及び創業支援セミナーを実施する。また、創業に係る初期費用及び事業を営むための貸室に係る家賃の補助を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ①二番館において専門家による新規創業相談(24件)、②女性起業支援セミナー(8/23、9/6 30人)、③創業者支援補助金に係る女性・若者の優遇制度(女性の補助対象者:4件)、④市内イベントへの創業前のトライアル出店(女性起業希望者:8件)、⑤その他創業等に係るセミナー(女性の参加者計:36人)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
女性の創業相談件数		女性の起業を支援した数		
<目標> 48 件 <実績> 102 件		<目標> 15 件 <実績> 6 件		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 2 (達成は不十分)		
上記各事業(①②③④⑤)の連携をより意識し、周知・宣伝を強化に努めた結果、目標を達成することができた。		目標を達成することはできなかったが、二番館相談者の創業(2件)及び補助金活用による創業(4件)の件数は昨年度よりも上昇している。		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要)		創業相談、女性起業セミナー、創業者支援補助金に加え今年度は創業希望者を対象に市内イベントにてトライアル出店を実施した結果、創業の実現に向け有意義な取組みであったと参加者より評価をいただいた。また、各事業内において関連する創業支援施策の周知を積極的に行ったことが各実績の向上に繋がっている。		
<H29実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
創業準備段階の層については、創業相談や女性起業支援セミナーの実施により支援を行っている状況であるが、実際に創業(開業)する段階まであまり進められていない。		創業に関しては成果が表れるまで時間が必要になることから、継続的な支援に加え、各実施事業の連携を強化し、効果を高めていきたい。また、各準備段階において支援を行う必要があり、今年度実施したトライアル出店に加え空き店舗見学ツアーなど創業直前の支援について、今後も、実施を検討していく。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (2) 起業・自営業などへの支援

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

069	事業名	家族経営協定の推進	課所	農業振興課	事業費	0円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市内で農業を経営する世帯における女性従事者の労働環境の向上を図る。			農業を経営する家族間の話し合いのもとで共同経営環境の取り決めをする「家族経営協定」の普及拡大のため、農家への戸別訪問による啓発パンフレットの配布や制度説明、農業団体へのPRなどを行う。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 各農業団体の会議等において、家族経営協定の制度を説明し、PRを行った。						
【活動実績(活動指標)】 農業団体へのPR活動			【取り組みの成果(成果指標)】 協定の締結件数(累計)			
<目標> 6 回 <実績> 6 回			<目標> 39 件 <実績> 33 件			
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 4 (概ね達成できた)			
越谷市農業団体連合会の各部会、JA越谷市女性部等の会議においてPRを行った。						
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H29実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
家族経営協定の締結に向け、制度説明やPRを推進しているところであるが、積極的に取り組む農業者が少ない。			制度の概要に加え、労働環境の向上を目的とした家族経営協定の意義やメリットについて、農業者に対し積極的に周知、PRする。			

070	事業名	女性の農業従事者支援	課所	農業振興課	事業費	460,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市内の農業に携わる女性組織の活動を支援し、農業における女性の地位向上や経営参画推進を図る。			越谷市農業担い手育成総合支援協議会を通して、JA越谷市女性部に補助金を交付することで、農業経営に関する講座の開催、先進事例の研究、地域交流などを支援する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 JA越谷市女性部を通じて、地場農産物を利用した料理講習会や、市民まつり、産業フェスタ等での加工品販売、視察研修等を実施した。また、農業経営への女性参画や女性農業起業家の育成に取り組んだ。						
【活動実績(活動指標)】 事業の開催回数			【取り組みの成果(成果指標)】			
<目標> 75 回 <実績> 60 回			<目標> <実績>			
達成度 4 (概ね達成できた)			達成度 4 (概ね達成できた)			
女性農業起業家としての自立を目標に、農産物の地産池消推進や、地場農産物を利用した加工品の販売を行った。						
事業の評価						
B (概ね順調に取り組んでいる)						
<H29実績> B						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
女性農業起業家としての自立や経営の安定化が十分に図れていない。			地場農産物を利用した加工品のPRや女性農業者間の交流・情報交換等を推進することで、女性農業者の、女性ならではの発想やネットワークを活かした活動を促進し、起業家としての自立や経営の安定化を図っていく。			

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (3) 職場環境の整備

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

071	事業名	ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 49,140円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市内の事業者へ、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について普及・啓発を行う。		ワーク・ライフ・バランスに関係する取り組みを行っている市内の事業者へインタビューし、その効果などをまとめたリーフレットを市内事業者へ配付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組んでいる市内事業者(大森機械工業株式会社)へのインタビュー記事を掲載したリーフレットを作成し、市内の企業経営者を中心に配付した。(配付部数:約2,500部)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
リーフレットの配付				
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
越谷法人会に依頼し所属している市内企業(約2,300社)にリーフレットを配付し、企業経営者に周知を行った。このほか、産業支援課窓口及び「ほっと越谷」にも配架した。		法人会会報への同封により、人事労務担当や企業経営者の元に直接リーフレットが渡るようにしたことで、通常の配架よりも効果的な啓発を行うことができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
啓発の効果を高めるため、企業への直接的な啓発を継続する必要がある。		今後とも、市内企業に対するワーク・ライフ・バランスの直接的な啓発手法を模索していく。		

072	事業名	事業者を対象とした男女共同参画に関する事業の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター 30,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
事業者へ男女共同参画意識の普及・啓発を図り、職場における男女共同参画を推進する。		事業者を対象として、ワーク・ライフ・バランスなどに関する講座等を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 事業者や働き方の見直しに関心のある市民を対象に、ワーク・ライフ・バランスの実現が企業や従業員にもたらす効果や、取り組みの意味について理解を深めるとともに、先進企業の取組み事例から社内の両立支援制度や環境整備のヒントを学ぶ講座を実施した。2/9「ANAの挑戦!一人ひとりが輝く企業へ」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
実施事業数				
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:15人(女性9人、男性6人) 募集人数:30人		「自分が所属している会社では、なかなかここまでの取り組みはできないが、今日話していただいた中で、小さいことでもヒントになることがあるので、取り組んでいけたらと思う」「ダイバーシティ&インクルージョンの考え方がよくわかった」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (3)職場環境の整備

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

073	事業名	就労に関する法制度等の普及・啓発	課所 事業費	男女共同参画支援センター 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民に就労に関する法制度の普及・啓発を図り、職場における男女共同参画を推進する。		配偶者控除、育児・介護休業法、パートタイム労働法など、就労に関する法制度について講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 埼玉労働局と共催で、10/17「これだけは知っておきたいパートタイム労働法」を実施した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 %		<目標> 80 % <実績> 67 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
参加人数:33人(女性31人、男性2人) 募集人数:30人		「自分自身の働き方を考えるきっかけになった」「労働局の方の話が簡潔でわかりやすく、短い時間の中で精一杯対応してくれた」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		参加者のうち事前にパートタイム労働法を知っている人は4人(9%)だったが、講座終了後のアンケート結果では、31人(94%)が「理解できた」、「どちらかといえば理解できた」と回答し、パートタイム労働法についての理解を深めることができた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

074	事業名	職員に対するハラスメント対策の充実	課所 事業費	安全衛生管理課 -
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
ハラスメントのない、男女がともに能力を発揮できる職場環境を形成するため、職員に対する意識啓発を図る。		ハラスメントに関する研修等を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 新採用職員研修、中級研修(入庁後6年目)、上級研修(入庁後12年目)、新任主幹研修及び特別研修において、ハラスメントに関する研修を実施した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
ハラスメントに関する研修受講者数		ハラスメント発生件数		
<目標> 1 人 <実績> 298 人		<目標> 0 件 <実績> 0 件		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
新採用(女性16人、男性28人)、中級(女性64人、男性49人)、上級(女性17人、男性41人)、新任主幹(女性19人、男性35人)、特別(女性4人、男性25人)				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		研修を実施してきたことにより、ハラスメントに対する問題意識が深まり、相談窓口の認知度が高まった。これは事業の成果の一面と言えるが、目標は、ハラスメントのない職場環境である。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
ハラスメントに関する正しい認識の一層の定着が必要であるとする。		研修の継続・反復実施及び相談窓口の周知・利用促進に努める。		